



# (株)大島製作所

オリジナルブランドを軸に多種多様な製品を提供

～軌跡を辿る～



▲創造当時から変わらぬ製造風景

▲創業以来、作られている福鈴



▲フィッシングショーOSAKAに出展

1945年 創業(昭和20年)

(株) 大島製作所

〒577-0843

東大阪市荒川12-1-2-4

TEL : 06-6721-9625

URL : <http://www.oland.jp>

代表取締役社長 大島 正旭 氏

**創業は終戦の1945年。大島兄と共に湯たんぽやバケツ製造に従事していた経験を活かし、東大阪市三ノ瀬で創業。神社・仏閣等でも使用される「福鈴」の製造を開始した。1947年には、現在主流となっている丸型の「宝来鈴」製造を開始するべく、第2工場を増設。1974年には、「宝福印」の商標権取得に至る。この頃、釣業界の卸問屋から竿先につける鈴の受注を受けたことを機に、釣具関連の製品にも着手。1966年、現在地の荒川に移転。本格的に釣具関連製品の製造に注力し、金属・樹脂・ゴム等の金型設計からプレス・絞り・穴あけまでの一段貫生産を強みに、販路を拡大していくこととなる。**

同氏は釣りに関連する講習会や大会を主催するなど、釣り人口の増加にも尽力。また、フィッシングショーや出展するなど、知名度向上にも注力している。「釣り具は季節ごとに売れるアイテムが異なるため、今後もお客様のニーズに柔軟に対応した製品づくりを進めていきたい」と正旭社長は意気込みを語る。

【 鈴製造をヒントに釣具業界へ 】

【 釣り人口拡大に尽力 】

1 976年には、2代目の正旭氏が社長に就任。自社オリジナルの釣具ブランド「Oland

(オーランド)」を立ち上げ、大手メーカーからリール等のOEMを請け負い始める。現在、釣具関連商品は約2500種類、「宝福印」に限定しても約600種類のラインナップを取り揃えている。

同氏は釣りに関連する講習会や大会を主催するなど、釣り人口の増加にも尽力。また、フィッシング

ショーや出展するなど、知名度向上にも注力している。「釣り具は季

節ごとに売れるアイテムが異なるため、今後もお客様のニーズに柔軟に対応した製品づくりを進めていきたい」と正旭社長は意気込みを語る。